

平成 30 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域の人材が地域で学び地域で活躍する風土醸成事業
事業主体 (連絡先)	(公財)上伊那産業振興会 伊那市西箕輪 2415-6 電話 0265-76-5661
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	4,709,908円 (うち支援金: 3,365,000円)

事業内容

本事業は若者の地域外流出に歯止めをかけるため、ものづくり産業と建設産業との連携により、将来の上伊那全体の産業や文化を育む人材を育成する風土の醸成を目指しました。ファミリーから企業まで参加しました。

- 1、環境出前授業 小学 6 校、330 名参加
 - ・環境やエネルギーについて小学校へ出張授業。
- 2、子供科学工作教室 小学生 76 名、スタッフ 68 名参加
 - ・キットの組立を通してものづくりを体感
- 3、人材ふれあいフェア
来場者 1,800 名、出展者 140 名、運営 100 名参加
 - ・活動や製品の展示 49 ブース
 - ・ものづくり体験 9 コース
 - ・おもしろ実験 6 コース
 - ・リニア出展、出前授業
- 4、人材育成研修 10 講座、受講者 171 名
 - ・改善、経営強化、技術習得などをテーマ



人材ふれあいフェア

人材育成研修

事業効果

各事業とも地域の人々が一体となって取り組み、下記のような効果がありました。

- 1、環境出前授業
 - ・社会の問題を盛り込みながら学校の授業を補完し、生徒、先生方から大変喜ばれた。
- 2、子供科学工作教室
 - ・子供がものづくりの楽しさを体感出来、また参加した高校生は社会勉強の場にもなった。
- 3、人材ふれあいフェア
 - ・前年度の倍以上の参加者、地域への浸透を感じた。
 - ・地域のファミリー、学生、教育関係者、企業、団体、行政様々な分野の地域住民の交流と情報交換の場となり、地域の連帯に手応えを感じた。
- 4、人材育成研修
 - ・企業体質改善と人材のスキルアップに貢献できた。

【目標・ねらい】

- ①地域の将来を担う若者たちに地域の様々な魅力を知ってもらおう。
- ②ものづくりや科学技術の楽しさを体感し、将来の進路を見つけてもらう。
- ③教育の拠点としての南信工科短大を知ってもらおう。
などにより、地域に住み続け地域を盛り上げる人材を育成する

自己評価 【 A 】

【理由】

- 下記理由により A と評価する。
- ・当初の予定通りやり遂げた。
 - ・予想以上の参加が得られた。
 - ・スタッフ、参加者、いずれからも喜ばれ、今後の継続を期待された。
 - ・連携の輪が広がった。

今後の取り組み

今後も継続しさらに発展させ、毎年地域に期待される取り組みとしていきます。今後は、南信工科短大の知的財産の地域への還元、リニア時代に向けた取り組みを強く意識し、様々な業界や組織が連携して取り組む事業としていきます。